

## 2011年度事業報告

### はじめに

2011年度は、新しい総合展示(2011年3月1日更新)にもとづいて、学校教育との連携にとくに重点を置いた事業内容(ワークショップやスタディツアーなど)や教育サービス(学芸員解説や学校 de 博物館)を展開しました。また、年間を通じて特別展および企画展を開催する体制を整えました。さらにホールを活用した主催・共催事業などを活発におこないました。

基本事業の実施にあたっては、今日的な厳しい経済情勢をふまえつつ費用対効果を考慮し、来館者の増加につながるような魅力ある事業をおこないました。さらに、全国各地において巡回展や1日パネル展を開催し、多くの方々に当館の存在と展示内容を知っていただくよう努力しました。その結果、総利用者(来館者と館外利用者)は昨年度の6万3千人を上回る7万8千人となりました。

このことは、広報誌の充実や情報化時代に対応したホームページの改訂など、新たな広報戦略を構築したことのあらわれでもあります。さらに、リバティホールなどの施設について、より一層の一般開放を推進したからでもあります。とくに、従来からおこなってきた利用促進活動を継続し、関係諸機関・団体にむけて積極的な当館の活用を働きかけたことが功を奏しました。

### 1. 基本事業

#### (1)資料収集保管事業

◇内容 とくに総合展示にかかわって、関係機関・個人から貴重な資料の寄贈をうけることができた。

#### (2)調査研究事業

◇内容 総合展示にかかわる最新の情報を深く、かつわかりやすく伝えられるよう、個別の展示内容について研究を深めた。共同研究では成果を『日本社会と食肉について考える—大阪人権博物館調査報告書第4集』として刊行した。また、特別展シンポジウムの内容を『大阪人権博物館紀要』第14号として発表した。

#### (3)展示公開事業

##### 1)特別展(主催)

①展覧会名 第66回「モダンガールズ 青鞥の時代」

②会 期 2011年9月6日(火)～11月7日(日)

③会 場 大阪人権博物館 特別展示室

④来館人数 6,789人

⑤関連企画

I. 講演会「青鞥とフェミニズム」

◇参加者数 37人

II. セミナー「女性の生と性を考える連続セミナー」

(1)「シングルマザーと労働問題」 ◇参加人数7人

(2)「シングルライフと家族」 ◇参加人数7人

(3)「からだと心の自己決定権」 ◇参加人数7人

◇このほか、学芸員解説を随時開催

## 2)企画展Ⅰ(主催)

①展覧会名 「なにわの歴史街道」

②会 期 2011年4月29日(祝)～5月29日(日)

③会 場 大阪人権博物館 ガイダンスルーム2

④来館人数 2,508人

⑤関連企画

I. 野外講座

(1)歴史街道に行く～"四カ所"巡り ◇参加人数23人

(2)歴史街道に行く～"墓所"巡り ◇参加人数19人

II. 学芸員セミナー

(1)歴史街道を語る～近世 ◇参加人数30人

(2)歴史街道を語る～近代 ◇参加人数14人

◇このほか、学芸員解説を随時開催

## 3)企画展Ⅱ(主催)

①展覧会名 「親子で学ぼう！部落の歴史と現在」※協力：大阪府内の各太鼓チーム

②会 期 2011年6月26日(日)～8月28日(日)

③会 場 大阪人権博物館 特別展示室

④来館人数 10,385人

⑤関連企画

I. 学芸員セミナー

(1)「江戸時代の身分制度」 ◇参加人数16人

(2)「皮から革へ」 ◇参加人数15人

◇このほか、学芸員解説を随時開催

## 4)企画展Ⅲ(共催※)

①展覧会名 「本橋成一写真展・屠場」 ※あとりえ西濱

②会 期 2011年6月21日(火)～8月28日(日)

③会 場 大阪人権博物館 ガイダンスルーム 2

④来館人数 10,894 人

⑤関連企画

I. シンポジウム「屠場の記憶と記録」 ◇参加人数 195 人

◇このほか、学芸員解説を随時開催

#### 5) 企画展Ⅳ(共催※)

①展覧会名 「親鸞の時代と被差別民」 ※浄土真宗本願寺派、真宗大谷派

②会 期 2011 年 11 月 22 日(火)～12 月 18 日(日)

③会 場 大阪人権博物館 特別展示室

④来館人数 6,475 人

⑤関連企画

◇会期中は、学芸員解説を随時開催

◇当館含め、浄土真宗本願寺派(西本願寺)および真宗大谷派(東本願寺)およびの  
3 会場で開催

#### 6) 企画展Ⅴ(共催※)

①展覧会名 「「見た目」問題ってどんな問題？」 ※「見た目問題」展実行委員会

②会 期 2012 年 1 月 31 日(火)～3 月 25 日(日)

③会 場 大阪人権博物館 ガイダンスルーム 2

④来館人数 5,050 人

⑤関連企画

I. シンポジウム

(1) 「アルビノに見る現代社会」 ◇参加人数 29 人

(2) 「「見た目問題」を見る！聞く！うなる？」 ◇参加人数 43 人

(3) 「母親になった当事者たち」 ◇参加人数 36 人

II. 当事者による展示解説(計 6 回) ◇参加人数 69 人

#### (4) 教育普及事業

##### 1) 学芸員セミナー

①開催日 2011 年 7 月 9 日、9 月 10 日、10 月 8 日、11 月 12 日、12 月 10 日  
2012 年 1 月 8 日、2 月 12 日

②参加人数 のべ 57 人

##### 2) 学芸員解説

①開催日 2011 年 4 月 29 日、5 月 4 日、7 日、21 日、6 月 4 日、7 月 2 日、  
9 月 11 日、18 日、10 月 1 日、2 日、22 日、11 月 5 日、12 月 3 日

②参加人数 のべ 130 人

### 3)各種イベント

①「あなたの願いを短冊に～リバティおおさか中庭で七夕まつり～」

◇開催日 2011年7月2日(土)～7日(木)

◇参加人数 のべ165人

②館外イベントへの参加

◇開催日 2011年7月28日(土)「なにわの日」

### 4)ワークショップ

I.「いろんな衣装を着てみよう」

①開催日 2011年5月21日(土)

②参加人数 3人

II.「高齢者体験／バリアフリーを学ぼう」

①開催日 2011年6月11日(土)

②参加人数 3人

### 5)学芸員実習

①開催日 2011年7月29日(金)～8月5日(金)

②参加人数 3人

## 2.ホール事業

### 1)土曜サロン

①開催日 2011年5月21日、6月18日、7月16日、10月15日、12月17日

②参加人数 のべ124人

### 2)リバティサロン「夏の夜の太鼓コンサート 2011」

①開催日 2011年8月6日(土)

②参加人数 306人

### 3)リバティシネマ

I.「人間の街—大阪・被差別部落」(共催※) ※あとりえ西濱

①開催日 2011年8月20日(土)

②参加人数 115人

II.「優秀映画鑑賞推進事業」(共催※) ※国立近代美術館フィルムセンター・文化庁

①開催日 2012年1月28日(土)、29日(日)

②参加人数 28人

### 4)シンポジウム「賤民制度の廃止から140年～いま「解放令」の再検証を試みる～」

①開催日 2011年8月28日(土)

②参加人数 87人

5)スタディツアー

①開催日 2011年8月3日(水)、4日(木)

②参加人数 117人

### 3. 観覧サービス事業

(1)社会教育

1)学芸員講座

◇実施回数 102回 2,846人

2)出前講座

◇実施回数 37回 2,090人

3)人権・歴史フィールドワーク事業

◇実施回数 58回 1,239人

(2)学校教育

1)学芸員解説

◇実施回数 120回 10,971人

2)学校 de 博物館

◇実施回数 117回 9,383人

### 4. 広報活動

(1)広報紙(ほぼ2ヵ月に1回発行、各7,000部を発行した)

52号(4月1日発行)企画展「歴史街道」、新総合展示の内容案内など

53号(6月1日発行)企画展「部落の歴史」、写真展「屠場」など

54号(9月1日発行)第66回特別展「モダンガールズ」など

55号(12月1日発行)展示・イベントの案内(2011.12～2012.3)など

(2)各種印刷物

1)総合展示案内、交通機関など基本的な情報を掲載したリーフレット(日本語版)を作成し、それに年間スケジュールを挟み込み、来館者に配布するとともに利用促進にも活用した。

2)ホールの貸出、共催事業についても、利用者拡大のため広報用のチラシを作成した。

3)教育サービスを周知するチラシ(手刷)を作成し、3万枚以上配布し利用促進において活用した。

## 5. 利用促進

### (1) 諸機関・団体への働きかけ

◇利用促進活動を継続し、来館者の増加に努めた。

◇重点対象

- ①民間企業
- ②旅行会社・観光案内所
- ③私立高校・大学
- ④学校教育関係団体

### (2) 施設利用の働きかけ

◇当館を支援してくれている諸機関・団体に対して、積極的なホールなどの活用を促進した。

◇市人教、市外教が主催する「リバティアートフェスタ」などホールを利用した事業を実施したことで、ホール利用の活性化、来館増加に結びつけた。

◇諸機関・団体が見学を含めた独自研修・諸会議等でホールの利用を通して、ホールの活性化、来館者増に結びつけた。

利用促進による施設利用数 69回

### (3) ホール貸出

◇リバティホールを一般開放することで、ホール利用の活性化を図った。

利用数 18回（のべ 26日間利用）

### (4) 1日パネル展

◇関係団体の協力を得て、博物館の広報活動を兼ねたパネル展をのべ 20 会場で開催し、6,930 人が見学した。

### (5) 巡回展

◇大阪府内の関係団体の協力を得て、博物館の広報活動を兼ねた巡回展を 6 会場で開催し、5,039 人が見学した。